

麦の穂

67
平成28年
4月15日発行

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

病院機能評価3rdG :Ver.1.1受審を終えて

平成27年11月18日に3度目の病院機能評価を受審しました。今回の審査はこれまでのマニュアルなどの書類中心の審査とは異なり、実際の診療記録、病棟での日々の活動内容、病院運営の実際など病院での日常活動に関し、より具体的に診療プロセスの評価を受ける内容でした。

受審の約1年前より、全職種が参加した機能評価委員会を立ち上げ、資料収集、マニュアルの改訂、チャンピオンカルテの選定、診療記録、記載内容のブラッシュアップなど、全職員協力の下、対策を検討しました。中でもファイルメーカーを用いて作成した受審準備進捗状況を示すソフトウェアは秀逸であり、準備の現状を把握する意味で大いに役立ちました。

受審当日は病院の主な職員が揃って病院の概要を説明することから始まり、その後、一般病棟、リハビリテーション病棟、事務の各部門に分かれ、それぞれの審査委員による審査が行われました。審査は和気あいあいとしたものでしたが、「入院診療計画書の記載をより具体的にするように」、「抑制はどのような種類があるのか具体的に説明するように」、「入院患者に対して倫理カンファレンスを行うように」、「看護師の受け持ち体制を考慮するように」、「点滴・注射の準備する場所を考えるように」、「リハビリテーションに医師がもっと深く関わるように」、など厳しい指摘もありました。しかし、お褒めの言葉をいただくことも多く、中でも当院が進めている『救急医療』、『地域連携』に対しては高い評価を受けました。特に広島市西区医師会と共同で進めている『西区あんしん病院システム』は極めて高い評価でした。

平成28年3月10日に正式に病院機能評価機構から審査の結果が届きました。受審中に厳しい指摘もあったことから、結果を心配していましたが、届いた結果はC項目がなく、地域連携に関してはS項目もあり、良好な結果で胸をなで下ろした次第です。これまでの2回の受審とは異なり、C項目が見られないのは3回目にして初めてのことでした。機能評価に関わった方々を始め、職員一同に感謝しています

病院機能評価の結果が良好であったことは、職員一同が一致団結して目的達成のために努力した結果であり、病院として階段を更に一步上がることができたと考えられます。今後も努力と精進を重ね、より良い病院にするため、更なる質の向上が全職員の責務であると考えております。

院長 沖 修一

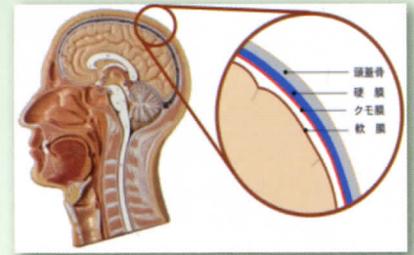


もくじ

- 1 病院機能評価3rdG :Ver.1.1受審を終えて
- 2 くも膜下出血はどんな病気？
- 3 医道倫理研修会 「ハラスメントの基礎を学ぶ」開催報告
「地域リハビリテーション連携の会 第7回リハ・カフェ」が開催されました。
- 4 第五回 五福の会開催
平成28年 五福の会 健康・介護教室スケジュール
- 5 連携医療機関のご紹介 —— 医療法人社団 共愛会 己斐ヶ丘病院 ——

くも膜下出血はどんな病気？

脳を覆っている3枚の膜の内の一つである、くも膜という膜の下に出血するのがくも膜下出血です。一般的には、くも膜下出血が起こると、即死を含めて1/3の方が亡くなると言われており、治療を行い救命できてもその半数には麻痺や言語障害などの後遺症が残ると言われています。



原因は何なの？

くも膜下出血の原因の殆どは、脳の動脈に出来た瘤（脳動脈瘤）の破裂です。他にも脳動静脈奇形やモヤモヤ病、血液疾患などがあります。



MRAngio



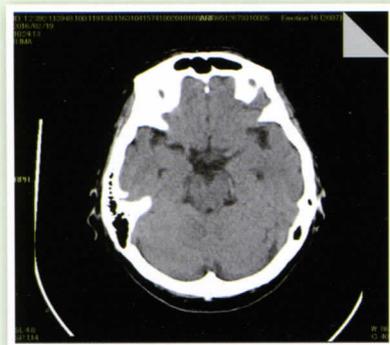
3D



3D拡大

どんな症状が出る？

最も典型的な症状は、「ハンマーで殴られた様な」「今までに経験したことのない」と形容されるような強い頭痛が起こります。突然起こる事が殆どで、嘔吐をする事も多いです。意識障害や、運動麻痺や言語障害が出る事もあります。



健常者頭部CT



くも膜下出血CT

検査や治療法はどうするの？

頭部CTやMRI検査を行います。MRI検査の時に同時に行うMRA（血管を写す検査）で動脈瘤の有無を調べ、ある場合はその位置・形・大きさなどを見て、治療方針を検討します。動脈瘤によるくも膜下出血の場合は再出血予防の為には外科的に治療しなくてはなりません。治療法としては開頭（頭を開ける）によるネッククリッピング術（動脈瘤をクリップで挟む）やコイル塞栓術（血管の中から動脈瘤内にプラチナ製のコイルを詰める）があります。

予防法はないの？

脳ドック等で、MRI検査を行うことで、発症前に動脈瘤を見つける事が可能です。

脳神経外科部長 脳血管内治療科部長 山崎 弘幸

医道倫理研修会「ハラスメントの基礎を学ぶ」開催報告

「患者の権利」や「インフォームド・コンセント」に対する意識が高まる医療現場では、常に倫理的問題が潜んでいます。このように現代の臨床現場において医療従事者と患者さんの間や医療従事者同士の間を調整するための規範（ルール）等を考えるのが「医道倫理」といえます。私たち臨床現場において倫理的評価を行うとき、その都度、論理的な思考をめぐらせているわけではありませんが、合理的に（筋道立てて）考えるためのツールとして倫理理論は非常に重要な役割を果たします。

その理解を深めるため、医道倫理委員会が主体となり、平成28年2月9日（火）18：30より、第一三共（株）中国支店 学術推進課 主幹 メディカルリスクマネージャー 服部 哲茂氏を講師にお迎えし、「ハラスメントの基礎を学ぶ」というテーマで、全職員を対象に医道倫理研修会を開催しました。

ハラスメントには、セクハラ、パワハラ、マタハラとさまざまな種類があり、広い意味でさまざまな場面での嫌がらせやいじめの事が該当し30種類のハラスメントが存在することを知りました。また、具体的事例をあげて頂き、何がどうハラスメントに該当するか実践方式の講演を実施して頂き、ハラスメントを正しく深く理解することができました。明日からの患者さん対応や病院運営を行う上で有意義な研修会を実施することができました。医道倫理委員会 委員長 沖 修一



「地域リハビリテーション連携の会 第7回リハ・カフェ」が開催されました。

広島県地域リハビリテーション広域支援センター事業の一環として当院で開催しております「地域リハビリテーション連携の会 リハ・カフェ」も平成28年1月29日の開催で第7回を迎えました。今回は「医療職の私たちにできる支援はどのようなことがあるか」というテーマに沿って、介護療養病床に入院している事例を紹介して頂き、その後グループワークを行いました。支援やサービスを行う上での目標設定、同職種・他職種の視点から白熱した討論が展開されました。その中でも「1人で抱え込まず色々な職種の方と協同して関わっていくことが必要なのではないか」という意見が多くみられ、改めてチーム医療や医療と介護の連携が重要であると考えさせられました。今度も医療と介護の連携をより一層深める機会となるよう、多職種での意見交換の場を企画していきたいと思っております。

リハビリテーション部 伊木 和磨



第五回 五福の会開催

平成28年3月4日、衆議院議員、広島県会議員、広島市会議員、広島市医師会長、広島市西区医師会長を始め、広島市内外の各界を代表する有識者の方々を含め総勢70名にご参加いただき、第五回五福の会を開催しました。この会は、地域の方々との意見交換を行い、病院のあり方や運営に反映することを目的に、平成17年8月に発足した会です。

今回は、脳血管内治療科の渋川正顕主任部長より「脳卒中治療の最前線～当院の脳血管内治療の取り組み～」を、また広島市医師会の落久保裕之理事より「西区医師会による西区在宅あんしんネットの取り組み」をご講演いただきました。一方、地域の代表の方々からは、地域医療への更なる貢献や介護との連携など、当院へのご提言とご要望を頂戴しました。

今後も、定期的に五福の会を開催し、よりよい病院運営に役立てていきたいと考えます。

診療補助部門 地域連携室 佐々木 洋



平成28年 五福の会 健康・介護教室スケジュール

開催月	教室	テーマ	担当	日程
1月	健康	脳卒中にならないために～食生活に気をつけよう～	沖院長	1月27日(水) 13:00～
2月	介護	生活習慣を考えよう～自分の身体のこと知っていますか～	外来看護師	2月27日(土) 12:30～
3月	健康	脳卒中の基礎知識を学びましょう	江本副院長	3月30日(水) 13:00～
4月	介護	転倒予防体操～一緒にからだを動かしてみよう～	リハビリ部	4月23日(土) 12:30～
5月	健康	血管内の治療最前線	山崎部長	5月25日(水) 13:00～
6月	介護	健康な食事について考えよう!	食養科	6月25日(土) 12:30～
7月	健康	【特別講演】開院30周年記念	荒木理事長	7月1日(金) 13:00～
8月	介護	お口のケアを大切に～口腔ケアと口腔体操～	歯科衛生士 言語聴覚士	8月27日(土) 12:30～
9月	健康	心臓と脳の病気について	野村先生	9月28日(水) 13:00～
10月	介護	介護保険と施設について知ってみよう	地域連携室	10月22日(土) 12:30～
11月	健康	これからの時期に役立つ!～感染症と家庭でできる予防法～	島中師長	11月16日(水) 13:00～
12月	介護	認知症と向き合うために～症状を知り理解を深めよう～	あんしんホーム	12月17日(土) 12:30～

※介護教室の内容・日付については変更する可能性がありますのでご注意ください。
健康教室の詳細な日程につきましては、後日院内に掲示いたしますのでご確認ください。



連携医療機関のご紹介

医療法人社団 共愛会 己斐ヶ丘病院

住所：〒733-0815 広島県広島市西区己斐上6丁目554-1

TEL：082-272-2126

FAX：082-272-2185

診療科：精神科 神経科

理事長名：井上武敏

院長名：佐川正治

病床数：221床（精神一般65床、精神療養156床）

病院URL：<http://homepage2.nifty.com/Koigaoka/>



病院長 佐川正治 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	—
13:00~16:00	●	●	●	●	●	●	—

* 初診は原則午前中のみ。詳しくは電話でお問い合わせください。



当院は、昭和53年1月、己斐大茶臼山中腹、海拔200mの海を遠望できる陽当たりのよい場所に開院しました。己斐の町は古くから植木の盛んな町であり、緑に囲まれた病院近辺で入院患者様に自由な散策を楽しんでいただいております。又それを可能にする地元の方々の協力が得られることを大変ありがたく感謝しております。

当院は閉鎖病棟、開放病棟にかかわらず全病棟が男女混合病棟として発足し現在に至っております。現在の精神医療を取り巻く環境は、大きく変化し、入院中心だった医療も、外来、地域中心の医療へと変わりました。当院においても、早期専門的診断・治療、デイケア・デイナイトケア・グループホーム・訪問看護を実践し、社会復帰を支援しております。さらに、医療・保健・福祉活動が円滑に提供できるように、今後、診療所、総合病院精神科、各種機関との連携を密に行っていきたいと考えております。

これからも理念に基づき、良質な医療を推進していきますので、よろしくお願い致します。



医療法人光臨会 理念

- 一、皆様安心していただける、全人的な医療と介護を目指します

荒木脳神経外科病院 理念

- 一、脳神経外科としての専門性を軸に、幅広い診療体制で地域医療に貢献します
- 一、急性期医療の中核病院として、高機能で質の高いチーム医療を行います

運営方針

- 1. 「医療の原点は救急である」
- 2. 快適な療養環境と接遇の提供
- 3. チーム医療の推進と相互啓発
- 4. 「医療と福祉の複合化」の推進

患者様の権利

- 医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います
1. 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
 2. 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
 3. 医療に関して知る権利を尊重します
 4. 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
 5. 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
 6. 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します
 7. 苦情を申し立てる権利を尊重します

患者様の義務

1. 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります
2. 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。



外来担当医表

平成27年12月1日～

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初診(1診)	主任部長 茨川	荒木(男)	院長 沖	副院長 江本	診療部長 加納	広大
		再診(2診)	荒木(男)	院長 沖	主任部長 茨川	診療部長 山崎	副院長 江本	医長 谷
	午後	初・再診(1診)	医長 谷	診療部長 山崎	広大	診療部長 加納	医長 谷	広大
		再診(2診)	医長 谷					副院長 江本
脳神経内科	午前	3診				青木		
総合診療 (内科・外科)	午前	3診	診療部長 野村	診療部長 藤井	診療部長 藤井	診療部長 藤井	診療部長 藤井	診療部長 渡辺
	午後	3診	診療部長 渡辺	診療部長 渡辺	診療部長 渡辺	診療部長 野村	診療部長 渡辺	診療部長 野村
	午前	検査	診療部長 渡辺		診療部長 渡辺	診療部長 野村	診療部長 渡辺	
	午後	検査			診療部長 野村			
外科	午前	4診	診療部長 藤井					
脳神経外科 形成外科 消化器内科	午前	5診			北野病院(形成) ※平本	理事長 荒木 (再診)		消化器内科 井上

診察時間

- ◆完全予約制
- 午前 9時～12時
(初診受付:午前 11時 30分迄)
- 午後 3時～6時
(初診受付:午後 5時 30分迄)

救急は 24 時間受付けております

- ※形成外科
平本先生(北野病院 形成外科)
第2水曜日 毎月1回
- ※井上名誉教授
第2土曜 毎月1回

医療法人光臨会



荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

荒木クリニック 通所リハビリテーション

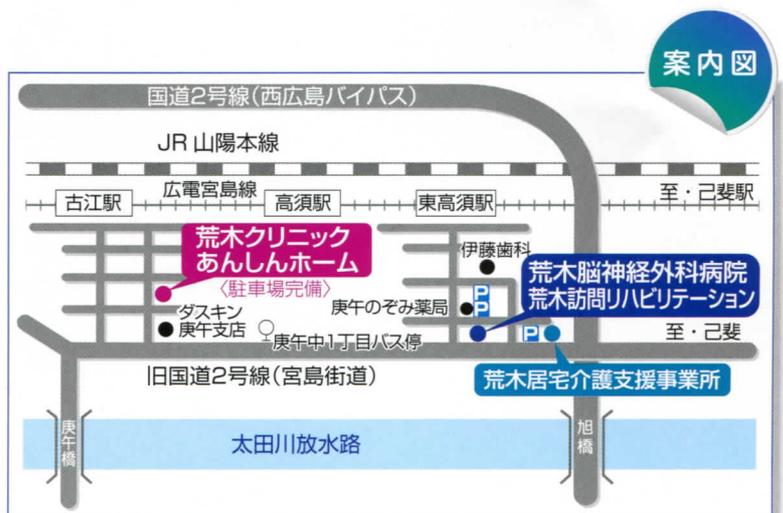
〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6100

あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6600

荒木居宅介護支援事業所

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目1-4-201
TEL 082-507-6300



- 自動車
西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)
- 広島電鉄・宮島線 / 「東高須」下車 徒歩3分
- 広島バス25号線 / 「庚午北2丁目」バス停前

お知らせ 4月より新入職員を多数迎え、職員ともども地域医療に貢献できるよう、より良い病院にしていきますのでよろしくお願い致します。